

4 福祉施設から一般就労への移行

くに きほんしん だい きけいかくじてん ふくしせつ いっぱんしゅうろう いこうじっせき
 国の基本指針：第1期計画時点における福祉施設から一般就労への移行実績の
 ばいじょう めざ
 4倍以上を目指す。

どう さくていほうしん だい きけいかくじてん ふくしせつ いっぱんしゅうろう いこうじっせき
 道の策定方針：第1期計画時点における福祉施設から一般就労への移行実績
 ばいじょう めざ
 の4倍以上を目指す。

さっぽろし もくひょう だい きけいかくじてん へいせい ねんど ふくしせつ いっぱん
 札幌市の目標：第1期計画時点（平成17年度）における福祉施設から一般
 しゅうろう いこうじっせき ばい にん めざ
 就労への移行実績の4.5倍（100人）を目指します。

(1) 第1期計画期間中の進捗状況

ふくしせつ いっぱんしゅうろう いこう へいせい ねんど にん へいせい ねんど
 福祉施設から一般就労への移行については、平成18年度51人（平成17年度
 じっせき ばい へいせい ねんど にん どう ばい
 実績の2.3倍）、平成19年度85人（同3.9倍）となっています。

	ねんど H17年度	ねんど H18年度	ねんど H19年度
ふくしせつ いっぱんしゅうろう 福祉施設から一般就労へ いこうしゃすう の移行者数	にん 22人	にん 51人	にん 85人

(2) 今後の取組の方向性

い か とりくみ すす いっぱんしゅうろう いこう いっそうそくしん
 以下のような取組を進め、一般就労への移行をより一層促進していくとと
 ふくしてきしゅうろう しえん じっし
 もに、福祉的就労の支援を実施していきます。

① しゅうろういこうしえんどう ほうていじぎょう じっし ひ つづ すいしん かんけい
 就労移行支援等の法定事業の実施を引き続き推進していくほか、関係
 ぎょうせいきかん きぎょう げんば かつよう しょくぎょうくんれん おこな しょくぎょう
 行政機関とともに企業の現場を活用して職業訓練を行う「職業
 のうりよくかいはつ じぎょう じっし しょう かつ しゅうろう のうりよく
 能力開発プロモート事業」を実施し、障がいのある方の就労の能力や
 ぎじゅつ こうじょう こよう ば かくだいとう はか
 技術の向上、雇用の場の拡大等を図っていきます。

② はげん けいたい かつよう しょう しゃげんき はげん しこうじぎょう
 派遣という形態を活用した「障がい者元気はっけん（派遣）試行事業」を
 じっし きぎょう しょう しゃ しょう しゃ しょくいき
 実施することにより、企業と障がい者のマッチング、障がい者の職域
 かいたく きぎょう りかいそくしん はか
 開拓、企業の理解促進などを図っていきます。

③ しゅうろう また しゅうろう きぼう しょう かつ そうだん おう
 就労している又は就労を希望している障がいのある方の相談に応じる

とともに、就労面と生活面の一体的な支援を行う「地域活動支援センター（就労者支援型）事業」を実施することにより、障がいのある方の雇用の安定を図っていきます。

- ④ 障がいのある方を5割以上かつ5人以上雇用し、新たな事業を行う民間企業等に補助する「障がい者協働事業」による障がいのある方の雇用の場の拡充を引き続き図っていきます。
- ⑤ 知的障がいのある方がホームヘルパー3級の資格を取得できるように養成講座を行い、就労や社会参加の拡充を図っていきます。また、これを実施する中で、2級への拡充なども検討していきます。
- ⑥ 「元気ショップ」や「福祉ショップいこ〜る」を活用した授産製品の販路拡大を引き続き図っていきます。また、さらなる販路拡大を図り、「元気ショップ2号店」を平成22年度までに開店します。
- ⑦ 市役所における福祉施設等からの物品等の購入及び福祉施設等への役務の発注の拡大について検討するなど、福祉的就労についての支援も引き続き行っていきます。

《就労支援について》

